

(特非) 大杉谷自然学校

宮川流域における伝統漁法の調査記録及び継承のための環境教育

イベントの延べ参加者数 223人

動画記録の上映校数 6校

活動の全体目標に対する達成度 60%



地元のお母さんから魚のさばき方を習う

◆成果と工夫したポイント

●成果

継承教室には2年間で延べ426人が参加、体験後の感想では、川への興味関心が高まっている。

また、夏休みに小学生が行う聞き取り調査に2年間で117人が参加し、聞き取り後の感想で8割の人が川への興味関心が高まった。

●工夫

工夫した点としては、今と昔の川の変遷を知る地域講師を招き、近年の環境変化を伝えた。

課題

宮川では河川文化の消失が顕著であり、現在も引き継がれている伝統漁法や魚食文化の継承が急務である。また、川への興味関心が低下し、川の荒廃へとつながっている。

目標

宮川流域に現存する河川文化を記録し公開することで、河川文化への興味関心を向上させる。

漁協組合員や地域住民の河川文化への理解を深め、継承の動きを活発化させる。

活動内容

- ・河川文化継承教室の開催(キャンプでの川体験7本、日帰り川体験×5本、鮎の調理体験1本、小中学生への漁法ビデオ上映7回)
- ・町内小学生への川の経験アンケート調査(2回)、小学生による祖父母世代への川の聞き取り調査の実施(2回)
- ・河川文化の調査・記録(映像動画記録5本作成・聞き取り記録5人作成)
- ・取組みの情報発信(HP作成・更新・ポスター発表実施・報告会の実施、展示の出版)。



地元漁師さんからしゃくり漁を習う

達成できなかったこと

漁法の動画記録は漁業期間に川の増水、悪天候等により、設定した日程に撮影を実施できず、思うように進まなかった。

今後の展望

河川文化の調査、記録を継続し、資料室の開設を行う。また、川での体験の機会を継続して提供していく。